

独自項目チェックリスト（自然博）

項目	独自	チェック内容	チェック欄	備考欄
企画 の 実施 事業	1	① 埼玉県 の自然史情報が伝わる展示になっているか	○	埼玉の情報を扱う
		② ハンズオンなどの体験的な手法を導入した展示になっているか	○	セミの鳴き声
		③ 館有資料を有効に活用した展示になっているか	○	2,012点利用
学習 支援 シス テム の 確 立	2	① 実際に体験できるプログラムを取り入れているか	○	多くが体験型
		② 館有資料を十分に活用したプログラムとなっているか	○	標本や二時資料を活用
		③ 参加者のリピーター化がはかれるプログラムとなっているか	○	継続性の事業も実施
		④ web等で学習支援システムの実施状況を報告し、情報の公開を行っているか	○	webで報告
共催・ 連携 展の 実施	3	① 共催・連携の意義を互いに確認した展示となっているか	○	7件実施
		② 相手方の要望を十分に考慮した展示となっているか	○	事前調整実施
		③ 実施のための展示案が用意されているか	○	提示複数案、要望により検討
		④ 共催・連携相手との役割分担を明確にしているか	○	広報、展示など
		⑤ 実施にあたり覚書などの文書を作成しているか	○	覚書締結
		⑥ 広報活動を相互に分担して行っているか	○	事前に取り決め
		⑦ 実施内容を相互にweb等で公開しているか	○	webや広報の利用
		⑧ 開催中の観覧者数や実施状況を適宜把握しているか	○	月ごとに把握
		⑧ 事業終了後に、事業総括として相手方と意見交換等を実施しているか	○	反省点等の確認
シンク タンク 機能 の 発 揮	4	① 職員の専門分野に関する情報を公開するとともに、専門的な知識を要望に応じて提供しているか	○	webで公開
		② 地方自治体や各種組織の構成員として、専門的な立場での社会貢献を行っているか	○	9件：県、国の委員など
		③ 様々な高等教育への寄与を行っているか	○	大学、高校の研修対応
		④ 全国の自然系博物館と情報交換等を通して交流しているか	○	展示資料調査など
		⑤ 学会、研究会等の運営に寄与しているか	○	研究会実施対応
		⑥ 埼玉県博物館連絡協議会の秩父地域の中心館として機能しているか	○	幹事館として活動
		⑦ 理科教育・科学教育に携わる指導者向けの支援・育成プログラムを実施しているか	○	小学校10件、中学校4件公開、教員等研修10回
		⑧ 外部研究者・市民科学者への指導・助言、あるいは共同研究を行っているか	○	外部研究者3名